



平成 29 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 鳥 貴 族
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 倉 忠 司
(コード番号：3193 東証第一部)
問 合 わ せ 先 管 理 部 部 長 小 畑 博 嗣
(TEL. 06-6562-5333)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 9 月 9 日に公表した平成 29 年 7 月期（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,740	1,959	1,928	1,164	100.59
今回修正予想 (B)	29,102	1,321	1,294	851	73.51
増 減 額 (B-A)	△1,637	△638	△634	△313	
増 減 率 (%)	△5.3	△32.6	△32.9	△26.9	
(参考) 前期実績 (平成 28 年 7 月期)	24,509	1,595	1,547	981	85.75

2. 修正の理由

売上高につきましては、既存店売上高が堅調に推移している一方で、通期の直営店新規出店店舗数が当初計画に対し 21 店舗未達の 59 店舗となる見通しであることから前回発表予想を下回る見込みであります。

原価におきましても、平成 28 年 11 月に実施した 30 周年記念キャンペーンの想定を超えたご利用と第 2 四半期における野菜仕入価格の高騰による原価率の悪化に対して、下期においては原価率が適正化するものと見込んでおりましたが、第 3 四半期において高原価商品の出数が増加しており原価率の改善が限定的なものとなる見込みであります。

また、営業利益につきましては、QSC の維持・向上に取り組んだことに伴う人件費の増加により上期計画未達となっております。下期においてはタッチパネル式のオーダーシステムによって店舗人件費の圧縮効果が見られたものの、品質・サービスを維持しながら利益率を向上させることを目指して立ち上げた「280 円（税抜）均一を守ろうプロジェクト」において、その他の効果的な施策を実現させることができず、当該プロジェクトによる通期のコスト削減効果が計画時に想定していた水準に至らない見込みとなりました。加えて、新規出店が当初計画よりも遅れたことによる売上高減少及び 5～7 月に出店を計画している直営店 33 店舗の出店費用が期末にかけて集中して発生すること等から営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上